

県内新設住宅着工戸数の 令和7年度状況

(令和7年4月～令和8年3月)

令和8年5月11日

富山県土木部建築住宅課

[事務担当] 建築指導係

TEL:076-444-3356(直通)

県内新設住宅着工戸数の令和7年度状況について

(令和7年4月～令和8年3月)

[概要]

本県の令和7年度の新設住宅着工戸数は3,783戸で、前年度比36.2%減となった。
利用関係別では、持家が前年度比24.6%減の2,039戸、貸家が39.2%減の1,305戸、分譲住宅が58.9%減の425戸となった。
構造別戸数では木造が前年度比29.4%減の3,282戸、非木造が60.8%減の501戸となった。
また、建方別戸数では、一戸建が前年度比23.6%減の2,436戸、長屋建が46.0%減の622戸、共同住宅が54.4%減の725戸となった。

1 新設住宅着工戸数の動向について

- (1) 本県の令和7年度(令和7年4月1日～令和8年3月31日)の新設住宅着工戸数(以下「新設住宅」という。)は、3,783戸(前年度5,927戸)であり、前年度比36.2%減となった。
- (2) 市町村別の新設住宅は、戸数が多い順に、富山市(1,893戸)、高岡市(605戸)、射水市(357戸)、砺波市(182戸)、滑川市(138戸)となっている。

2 利用関係別(持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の4分類)について

- (1) 持家は、2,039戸(前年度2,703戸)で前年度比24.6%減、新設住宅に占める割合は53.9%(前年度45.6%)であった。
- (2) 貸家は、1,305戸(前年度2,147戸)で前年度比39.2%減、新設住宅に占める割合は34.5%(前年度36.2%)であった。
- (3) 給与住宅は、14戸(前年度44戸)で前年度比68.2%減、新設住宅に占める割合は0.4%(前年度0.7%)であった。
- (4) 分譲住宅は、425戸(前年度1,033戸)で前年度比58.9%減、新設住宅に占める割合は11.2%(前年度17.4%)であった。

3 構造別（木造、非木造の2分類）について

- (1) 木造住宅は、3,282戸（前年度4,650戸）で前年度比29.4%減、新設住宅に占める割合は86.8%（前年度78.5%）であった。

木造住宅のうち、在来工法は2,910戸（前年度3,882戸）で前年度比25.0%減、新設住宅に占める割合は76.9%（前年度65.5%）であった。プレハブは38戸（前年度38戸）で前年度比0%、新設住宅に占める割合は1.0%（前年度0.6%）であった。ツーバイフォーは334戸（前年度730戸）で前年度比54.2%減、新設住宅に占める割合は8.8%（前年度12.3%）であった。

- (2) 非木造住宅は、501戸（前年度1,277戸）で前年度比60.8%減、新設住宅に占める割合は13.2%（前年度21.5%）であった。

非木造住宅のうち、在来工法は192戸（前年度957戸）で前年度比79.9%減、新設住宅に占める割合は5.1%（前年度16.1%）であった。プレハブは309戸（前年度320戸）で前年度比3.4%減、新設住宅に占める割合は8.2%（前年度5.4%）であった。

4 建て方別（一戸建、長屋建、共同住宅の3分類）について

- (1) 一戸建は、2,436戸（前年度3,187戸）で前年度比23.6%減、新設住宅に占める割合は64.4%（前年度53.8%）であった。

- (2) 長屋建は、622戸（前年度1,151戸）で前年度比46.0%減、新設住宅に占める割合は16.4%（前年度19.4%）であった。

- (3) 共同住宅は、725戸（前年度1,589戸）で前年度比54.4%減、新設住宅に占める割合は54.4%（前年度26.8%）であった。

共同住宅のうち、貸家は673戸（前年度988戸）で前年度比31.9%減、新設住宅に占める割合は17.8%（前年度16.7%）であった。分譲住宅は42戸（前年度580戸）で前年度比92.8%減、新設住宅に占める割合は1.1%（前年度9.8%）であった。

5 資金別（民間資金、公営、住宅金融支援機構、都市機構、その他の5分類）について

- (1) 民間資金住宅は、3,307戸（前年度5,133戸）で前年度比35.6%減、新設住宅に占める割合は87.4%（前年度86.6%）であった。

- (2) 住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫融資住宅）は、114戸（前年度288戸）で前年度比60.4%減、新設住宅に占める割合は3.0%（前年度4.9%）であった。